

第3章 国際化のための施設・機能

1 新潟空港

(1) 沿革

新潟空港は、昭和4年に市営飛行場として開設されて以来、日本海側の空の窓口として着実に発展してきた。平成10年には、これまでの4つの国際定期航空路（ハバロフスク、ソウル、イルクーツク、ウラジオストク）に加えて、上海/西安線、ハルビン線、グアム線、ホノルル線が相次いで開設され、日本海側の拠点空港として、重要な役割を担うに至っている。

図3-1 新潟空港位置



(2) 空港施設の概要

面積	197ha
滑走路	A 1,314m × 45m (方位04 - 22) B 2,500m × 45m (" 10 - 28)
誘導路	3,671m
エプロン	10バース (小型機用4、中型機用3、大型機用3)
駐車場	収容台数980台
新潟空港C I Q (税関、出入国管理、検疫)庁舎等	
税関 (東京税関新潟税関支署新潟空港出張所)	
入管 (東京入国管理局新潟出張所)	
検疫 (新潟検疫所新潟空港出張所)	
植防 (横浜植物防疫所新潟支所新潟空港分室)	
動検 (動物検疫所新潟空港出張所)	
警察 (新潟東警察署空港警備派出所)	
保税蔵置場	1,169.27m ²
冷凍庫	1台 1?
冷蔵庫	1台 30?
燻蒸庫	1機 28?

新潟空港の国際機能強化の目的で、平成元年度からB滑走路の2,500m延長計画が実施に移され、平成8年3月28日から供用開始された。また、新・新潟空港旅客ターミナルビルは平成8年7月11日から営業開始となった。

(3) 定期航空路の状況等

現在、8つの国際定期航空路が開設されているほか、9つの国内航空路が開かれている。(表3-1、図3-2参照)

国際チャーター便の運航も活発に行われており、平成14年度は、中国、台湾方面に加え、タイ国際航空が新潟に初めて就航したバンコクも利用者数を増やした。また、7月には新潟空港初の北米直行チャーター便(サンフランシスコ、ロサンゼルス)が運航された。合計25地点、101便、19,005人の実績を残している。

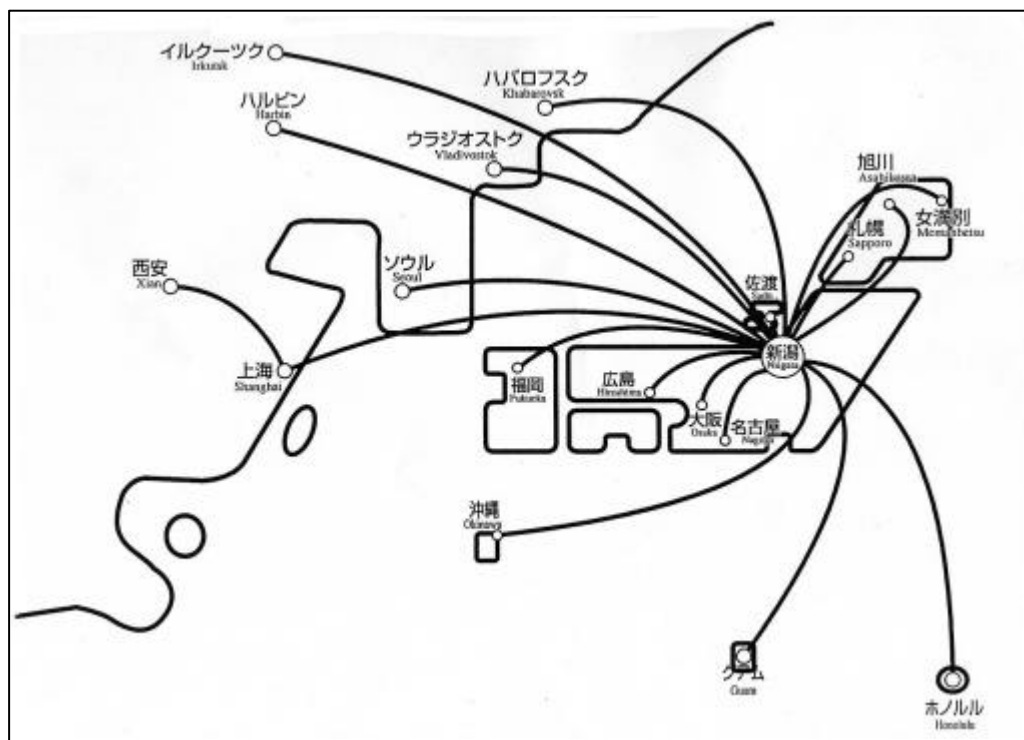
表3-1 定期航空路の開設状況

(国際線)

(平成15年4月現在)

路線	航空会社	航空機型式	便数(往復)	所要時間	備考
ハバロフスク	ダリアピア航空	TU-214 (164席)	2 / 週	115分	
ソウル	大韓航空	A330 200 (258席) A330 300 (296席)	5 / 週	135分	
イルクーツク					運休中
ウラジオストク	ウラジオストク航空	TU-154M (151席)	2 / 週	80分	
上海 / 西安	中国東方航空	A-320 (166席)	2 / 週	375分	
ハルビン	中国南方航空	MD-90 (153席)	4 / 週	115分	
グアム	コンチネンタル航空	B-737-800 (155席)	1 / 週	220分	
ホノルル	JAL ウエイズ	DC-10 (284席)	2 / 週	385分	冬期運航(11月～3月)

図3-2 定期航空路線網



(4) 国際線の旅客実績

平成14年度は、中東方面の政情不安が影響し、ホノルル線及びグアム線が前年度実績を割り込んだほか、ハルビン線も成田空港の暫定滑走路供用開始に伴う成田 - 瀋陽線開設の影響などから減少した。

しかし、大型機材が導入されたソウル線や上海 / 西安線、夏期に臨時便が運航されたウラジオストク線の利用者が前年度を上回り、全体として過去最高の利用者数となった。

表3-2 新潟空港国際線旅客実績の推移

(単位：人、%)

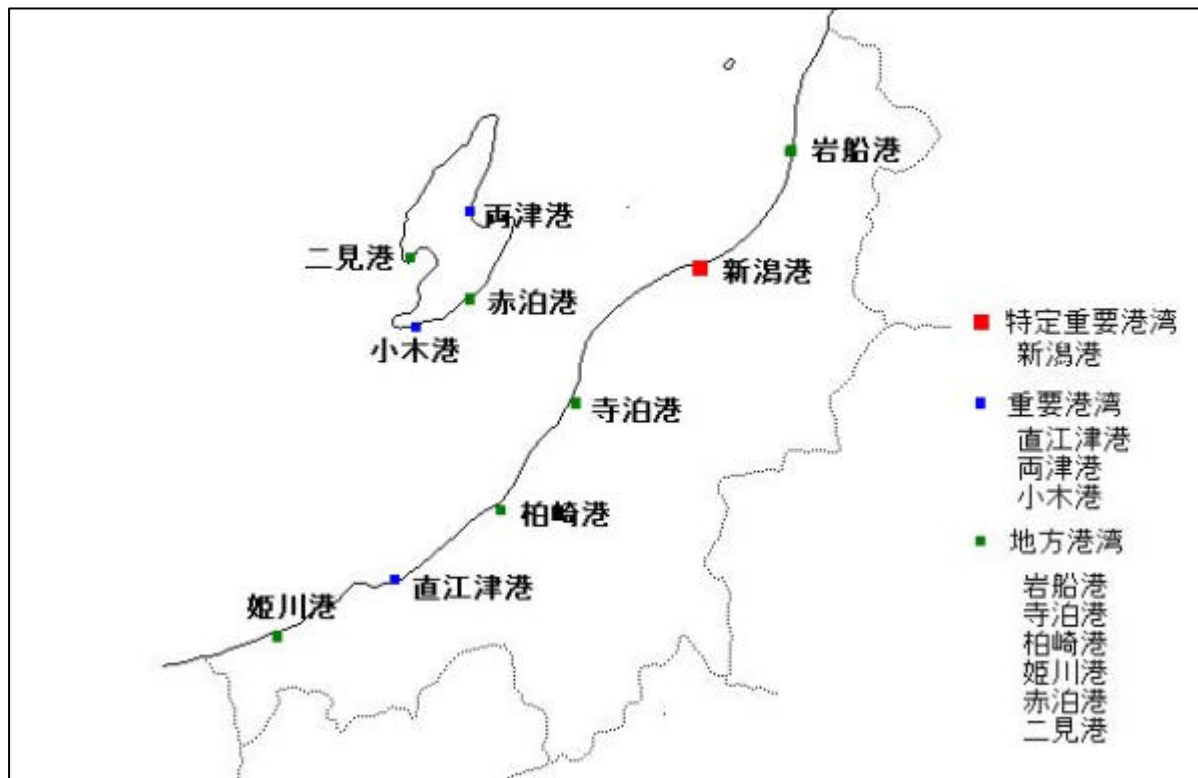
路線名 / 年度		平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14
ハバロフスク (昭和48年6月開設)	定期	38,894	22,925	16,030	12,995	14,346	15,645	14,047	14,523	16,960	18,949	21,229
	臨時	2,939	481	0	0	178	0	0	29	41	1,595	0
	計	41,833	23,406	16,030	12,995	14,524	15,645	14,047	14,552	17,001	20,544	21,229
	前年比	104	56	68.5	81.1	111.8	107.7	89.8	103.6	116.8	120.8	103.3
ソウル (昭和54年12月開設)	定期	43,928	48,655	50,976	51,148	50,427	45,431	49,429	60,738	67,816	68,522	78,020
	臨時	5,438	5,261	5,287	4,396	2,261	1,775	1,507	950	1,282	3,277	2,625
	計	49,366	53,916	56,263	55,544	52,688	47,206	50,936	61,688	69,098	71,799	80,645
	前年比	86.4	109.2	104.4	98.7	94.9	89.6	107.9	121.1	112	103.9	112.3
イルクーツク (平成3年6月開設)	定期	4,063	3,704	3,927	3,640	3,603	3,715	2,563	706	1,784	0	0
	臨時	963	341	92	0	210	0	0	0	0	0	0
	計	5,026	4,045	4,019	3,640	3,813	3,715	2,563	706	1,784	0	0
	前年比	287	80.5	99.4	90.5	104.8	97.4	69	27.5	252.7	0	0
ウラジオストク (平成5年4月開設)	定期	-	19,333	18,970	13,996	14,999	17,253	14,624	17,181	18,601	18,694	18,620
	臨時	-	356	0	0	20	0	22	75	595	1,155	1,669
	計	-	19,689	18,970	13,996	15,019	17,253	14,646	17,256	19,196	19,849	20,289
	前年比	-	-	96.3	73.7	107.3	114.9	84.9	117.8	111.2	103.4	102.2
上海 / 西安 (平成10年3月開設)	定期	-	-	-	-	-	557	19,301	23,070	24,158	22,530	25,237
	臨時	-	-	-	-	-	0	0	183	166	842	1,058
	計	-	-	-	-	-	557	19,301	23,253	24,324	23,372	26,295
	前年比	-	-	-	-	-	-	3,465.20	120.5	104.6	96.1	112.5
ハルビン (平成10年6月開設)	定期	-	-	-	-	-	-	8,986	20,998	31,247	34,942	33,284
	臨時	-	-	-	-	-	-	0	471	342	3,087	449
	計	-	-	-	-	-	-	8,986	21,469	31,589	38,029	33,733
	前年比	-	-	-	-	-	-	-	238.9	147.1	120.4	88.7
グアム (平成10年7月開設)	定期	-	-	-	-	-	-	16,514	23,574	25,342	20,003	16,459
	臨時	-	-	-	-	-	-	687	0	0	90	0
	計	-	-	-	-	-	-	17,201	23,574	25,342	20,093	16,459
	前年比	-	-	-	-	-	-	-	137.1	107.5	79.3	81.9
ホノルル (平成10年12月開設)	定期	-	-	-	-	-	-	4,124	17,313	20,091	12,352	10,153
	臨時	-	-	-	-	-	-	0	0	52.3	0	0
	計	-	-	-	-	-	-	4,124	17,313	20,614	12,352	10,153
	前年比	-	-	-	-	-	-	-	419.8	119.1	59.9	82.2
計	定期	86,885	94,617	89,903	81,779	83,375	82,601	129,588	178,103	205,999	195,992	203,002
	臨時	9,340	6,439	5,379	4,396	2,669	1,775	2,216	1,708	2,949	10,046	5,801
	チャーター	15,686	26,590	28,137	49,241	58,179	39,370	23,738	12,496	16,443	18,847	19,005
	計	111,911	127,646	123,419	135,416	144,223	123,746	155,542	192,307	225,391	224,885	227,808
	前年比	105.2	114.1	96.7	109.7	106.5	85.8	125.7	123.6	117.2	99.8	101.3

2 新潟港を中心とした港湾

(1) 県内港湾の状況

県内には特定重要港湾である新潟港を始め、重要港湾3港、地方港湾6港の計10の港があり、そのうち外貿取扱港は新潟、直江津、両津、柏崎及び姫川の5港となっている。外国貿易でみると貿易量全体のうち約90%を新潟港が占めている。(以下は、新潟港の概況である。)

図3-3 県内の港湾



(2) 新潟港のあらまし

新潟港は、古くから海上交通の要衝として、また後背地域の産業基盤として重要な役割を果たしており、昭和42年に特定重要港湾に指定されている。

また、平成7年には国の長期港湾政策の中で、新潟港は日本海側唯一の中核国際港湾に位置付けられ、今後重点的な港湾整備が期待される。

現在、新潟港は西港区と東港区の2つの拠点により構成されている。西港区は信濃川を利用した河口港であり、東港区は海岸の砂丘地を掘削して築港された掘込港湾である。

・新潟港西港区

新潟西港は古くからの新潟港の歴史を受け継いで外内貿流通港湾として発達し、着実に整備が進められ、また、平成5年には中央地区に国際旅客ターミナルビルが完成している。今後は、流通拠点として機能充実を図るほか、港湾の活性化を進めるため再開発や国際交流機能の整備が予定されている。

・新潟港東港区

日本経済の高度成長に伴い、新潟においても臨海工業地帯の造成計画が芽ばえ、その門戸となる東港計画が策定された。そして、昭和39年2月、新潟地区は新産業都市の指定を受け、東港区は、地域産業発展の中核として整備されることとなり、防波堤の建設、中央水路の掘込み、水深13m岸壁の築造が進められ、昭和44年に開港した。

東港区の背後には、電力、石油、化学、金属、機械、木材等の各種企業が進出し、臨海工業地帯を形成している。(計画区域1,533.2ha、うち工業用地905.5ha)

(3) 新潟港の国際機能の強化

新潟港は日本海側で唯一の中核国際港湾であり、この機能を高めることにより、国際物流の増大と本県経済の活性化を図ることとしている。近年では、対岸諸国や東南アジア地域との経済交流の活発化や船型の大型化、コンテナ化等に対応して、東港区において外貿コンテナターミナルや大型船舶用バースの施設整備を進めており、平成10年4月には新潟 F A Z 第一期基盤施設として、定温くん蒸庫が完成している。

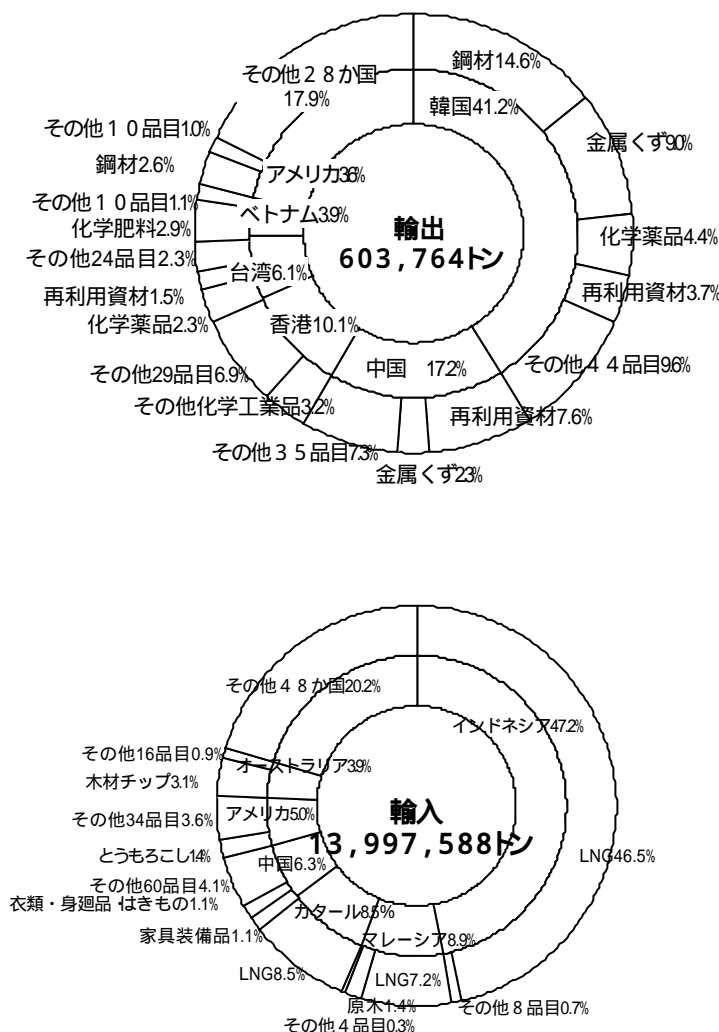
また、平成9年、県内荷主企業が中心となり設立された「新潟港利用促進協議会」とともに官民一体となった外貿コンテナ定期航路の誘致や荷主の開拓など国内外でポートセールスを積極的に展開している。

(4) 国際コンテナ航路の現況

釜山航路が週4便体制、中国・釜山航路が週1便体制、中国航路が週1便体制、東南アジア航路が週1便体制、中国東北部との新たな物流ルートとして、北東アジア航路が月1便体制など、アジアへの輸送網が充実し、取扱貨物量も順調に伸びている。

本県では、荷主企業のニーズをもとに北米航路の新規誘致に取り組むとともに、中国、東南アジア航路等の拡充にもつとめ、より一層、県内や隣接県企業の要望に応えるワールドワイドなコンテナ輸送網の充実に取り組んでいる。

図3-4 輸出入貨物国別品種取扱高



(5) 貿易取扱高

新潟港の外国貿易の取扱量は平成14年には14,601,352トンと対前年比1.1%増となっている。輸出と輸入の区別でみると、輸出が603,764トン、輸入が13,997,588トンと輸入量が輸出量を圧倒的に上回っているのが特徴的である。(図3-4参照)

(6) コンテナ取扱量

平成14年の取扱量は、対前年比約14.1%増(輸出28.2%増、輸入10.8%増)となり、輸出量、輸入量、全体取扱量がいずれも増加した。(表3-3参照)(実入りコンテナで比較、単位:TEU)

表3-3 新潟港コンテナ取扱本数 (単位:TEU)

航路名		平6 (1994)	平7 (1995)	平8 (1996)	平9 (1997)	平10 (1998)	平11 (1999)	平12 (2000)	平13 (2001)	平14 (2002)	前年比
釜山	輸出	2,572	3,740	4,613	4,002	3,545	6,249	7,177	8,660	6,844	79.0
	輸入	7,254	12,245	15,279	14,508	11,998	18,547	26,085	29,100	16,276	55.9
	合計	9,826	15,985	19,892	18,510	15,543	24,796	33,262	37,760	23,120	61.2
中国	輸出		227	407	541	702	879	620	808	5,320	658.4
	輸入		863	3,673	4,642	7,831	11,462	13,119	14,429	32,461	225.0
	合計	0	1,090	4,080	5,183	8,533	12,341	13,739	15,237	37,781	247.9
東南アジア	輸出	2,093	2,017	1,841	3,315	3,992	2,629	1,735	2,373	3,026	127.5
	輸入	3,596	3,649	3,978	6,936	8,971	7,553	7,073	7,918	8,286	104.6
	合計	5,689	5,666	5,819	10,251	12,963	10,182	8,808	10,291	11,312	109.9
北東アジア	輸出	-	-	-	-	-	32	29	3	0	
	輸入	-	-	-	-	-	11	19	7	0	
	合計	-	-	-	-	-	43	48	10	0	
T S C S	輸出	349	108	40	14	0	0	0	0	0	
	輸入	296	242	87	35	0	0	0	0	0	
	合計	645	350	127	49	0	0	0	0	0	
合計	輸出	5,014	6,092	6,901	7,872	8,239	9,789	9,561	11,844	15,190	128.6
	輸入	11,146	16,999	23,017	26,121	28,800	37,573	46,296	51,454	57,023	110.8
	合計	16,160	23,091	29,918	33,993	37,039	47,362	55,857	63,298	72,213	114.1

資料:「新潟港統計年報」(新潟県新潟港湾事務所)

(7) 姉妹港交流

ア ロシア ウラジオストク商業港との交流

姉妹港協定の締結(平成4年度~)

平成4年11月に、新潟港とウラジオストク商業港との間で締結した姉妹港協定に基づき、姉妹港フェアを相互に実施した。

新姉妹港協定の締結(平成12年度~)

平成12年7月に、新潟港・ウラジオストク商業港にウラジオストク港務局を加えた3者による新姉妹港協定を締結し、毎年交互に公表団を派遣している。平成14年度はウラジオストクから代表団を受け入れ、港湾の活性化について意見交換を行った。

イ 中国大連港との交流

友好合作協議書の調印(平成8年度~)

平成8年6月に、新潟港と大連港との友好交流・経済交流を促進するため、新潟において、「新潟港・大連港友好合作協議書」に調印した。

この協議書に基づいて、友好代表団・港湾研修生の相互派遣を実施している。友好代表団の派遣・受入に当たっては、港湾セミナー、写真展等を開催して、相互理解を図っている。

平成14年度は、新潟港友好代表団を派遣し、関係者との意見交換を行うとともに、大連港から港湾研修生を受け入れ、友好交流・経済交流事業を実施した。

表3-4 中国・大連港との友好交流の状況

年 度	友好代表団相互派遣		港湾研修生相互派遣	
	派遣	受入	派遣	受入
平成8年度	5	5		
平成9年度		5		5
平成10年度	5		5	4
平成11年度	3	5	代表団として派遣	
平成12年度	9			5
平成13年度		5	5	
平成14年度	5			5

表3-5 新潟港外国航路の概要

(平成15年5月)

航路名	配船サービス	寄港地(新潟からの標準日数)	運航船舶	代理店
釜山航路 (興亜海運) H6.7(H14.12)	週1便 (水)	新潟(水) - 秋田(木) - 釜山(土-日) - 金沢(月) - 富山(火) - (新潟)	Heung-A JAKARUTA (ヒュンガ・ジャカルタ) 653TEU	リコー
釜山航路* (汎洋商船) H9.2	週1便 (木)	新潟(木) - 秋田(金) - 富山(土) - 直江津(土) - 釜山(月-火) - (新潟)	Liberty Spirit (リバーティ・スピリット) 349TEU	富士
釜山航路* (高麗海運) H3.9(H14.12)	週1便 (金)	新潟(金) - 酒田(土) - 釜山(月-火) - 金沢(水) - 富山(木) - (新潟)	BRIGHT GOLD (ブライト・ゴールド) 848TEU	日通
釜山航路 (高麗海運) H15.5	週1便 (月)	新潟(月) - 直江津(火) - 境港(水) 釜山(木-金) - 舞鶴(土) - 敦賀(日) - (新潟)	Sunny Palm (サニー・パーム) 342TEU	日通
釜山航路 (南星海運) H15.3	週1便 (土)	新潟(土) - 苫小牧(日) - 八戸(月) 釜山(木) - (新潟)	MERRY STAR (メリ・スター) 342TEU	丸肥
中国・釜山航路 (南星海運) H13.5 (H14.1改編)	週1便 (木)	新潟(木) - 苫小牧(金) - 釧路(土) - 八戸(土) - 釜山(火-水) - 光陽(木) - 青島(土) - 下関(月) - 釜山(火) - (新潟)	Bonny Star (ボンニー・スター) 342TEU Pegasus Plenty (ペガサス・プレントイ) 430TEU	丸肥
東南アジア航路 (PIL) H3.1	週1便 (木)	新潟(0) - 苫小牧(1) - 八戸(3) - 仙台(4) - 日立(5) - 基隆(9) - 高雄(10) - 香港(11) - 黄埔(12) シンガポール(16) - 香港(20) - 高雄(22) - 基隆(23) - 富山(27) - (新潟)	コタ・バルムニ 1,088TEU コタ・バルティア 1,088TEU コタ・バルニル 1,088TEU ラモン・ベイ 1,125TEU	リコー
中国航路 (神原汽船) H7.5	週1便 (月)	新潟(0) - 小樽(1-2) - 富山(3) - 大連(6-7) - 青島(8) - 上海(9-10) - 境港(12) - (新潟)	COCOPALM ISLE 662TEU HIBISCUS ISLE 662TEU	リコー
北東アジア航路 (東龍海運) H11.8	月1便 (毎24日)	羅津 - 釜山 - 新潟 - 羅津	CHU XING 100TEU	リコー
トランス・シベリア・コンテナ (通称:TSCS) S55.12	月1便	新潟 - (途中寄港地不定) - ポストーチヌイ	PRIMORYE-MARU 423TEU	リコー
北米東岸航路 (イスタン・カーライナー) H13.2	月1便	新潟 - 大阪 - 金沢 - 川崎 - サルソナ - ホルチア - ノフォーク - ニューヨーク - サルソナ - 釧路 - 苫小牧 - 新潟	在来貨物船	リコー
ジャパノナホトカライン S51.8	随時	新潟 - (途中寄港地不定) - ナホトカ	在来貨物船	リコー
朝鮮航路(貨客船) S34.12	月約3便	新潟 - 元山	マンギョンホン92 (9,339G/T)貨客船	富士
ウラジオストク 客船航路 H5.6	年4便 (H10)	新潟 - ウラジオストク(2)	アントニナ・ネリダノ号 (188名、3,923G/T)	リコー

注1：*印の航路は、高麗海運、汎洋商船が相互にスロット・チャーターを行っている

注2：印の航路は、高麗海運、興亜海運が共同運航を行っている。

注3：シコラインは、汎洋商船の釜山航路のスペースを一部借り受けてサービスを行っている。

新潟港代理店

リコー：(株)リコーコーポレーション	025-256-4120(代)(国際物流グループ)
日通：日本通運(株)新潟海運支店	025-256-1177(国際輸送課)
富士：富士運輸(株)東港支店	025-256-1811(国際物流部)
丸肥：丸肥運送倉庫(株)	025-255-3535

(8) 直江津港の概要

直江津港は、世界に開かれた港として、近年めざましい進展を遂げている。

直江津港の平成14年の外国貿易取扱量は、7,117,850トンとなっている。また、国際定期コンテナ航路は、釜山航路が週1便、中国・釜山航路が週1便、中国航路が週1便就航している。コンテナ取扱量は、平成7年のコンテナ航路開設以来順調に増加しており、平成14年は、20フィートコンテナ換算で14,489個と対前年比9.4%増となっている。

県では、こうしたコンテナ取扱量の増大に対応するため、平成11年10月にはガントリークレーンを設置するなど施設整備を進める一方、上越市や直江津港湾協会と協力しながらポートセールス活動を展開している。

図3-5 新潟港・直江津港の定期コンテナ航路



表3-6 直江津港コンテナ取扱本数

(単位：TEU)

航路名		1997(H9)	1998(H10)	1999(H11)	2000(H12)	2001(H13)	2002(H14)	前年比
中国	輸出	837	761	1,478	2,630	1,496	1,100	73.6
	輸入	1,590	1,882	3,312	5,244	4,648	4,759	102.4
	合計	2,427	2,643	4,790	7,874	6,144	5,859	95.4
釜山	輸出	1,508	2,439	2,934	2,580	2,116	2,298	108.6
	輸入	3,010	2,826	2,915	3,428	3,306	1,932	58.4
	合計	4,518	5,265	5,849	6,008	5,422	4,230	78.0
上海・釜山	輸出					1,009	1,541	152.7
	輸入					675	2,859	423.6
	合計					1,684	4,400	261.3
台湾・香港	輸出	-	-	-	3	0	0	
	輸入	-	-	-	254	0	0	
	合計	-	-	-	257	0	0	
合計	輸出	2,345	3,200	4,412	5,213	4,621	4,939	106.9
	輸入	4,600	4,708	6,227	8,926	8,629	9,550	110.7
	合計	6,945	7,908	10,639	14,139	13,250	14,489	109.4
	対前年比(%)	150.7	113.9	134.5	132.9	93.7	109.4	

資料：直江津港湾事務所

中国航路の大連寄港は1998年11月開始

表3-7 直江津港外国航路コンテナ取扱本数

(平成15年5月)

航路名	配船サービス	寄港地	運航船舶	代理店
釜山航路* (汎洋商船) H11.12開設	週1便 (土)	直江津(土) - 釜山(月) - 新潟(木) - 秋田(金) - 富山 - (直江津)	Liberty Spirit (リバーティスピリット) 349TEU	海陸
釜山航路 (高麗海運) H7.10開設 (H15.5改編)	週1便 (火)	直江津(火) - 境港(水) - 釜山(木 - 金) - 舞鶴(土) - 敦賀(日) - 新潟(月) - (直江津)	Sunny Palm (サニーパーム)342TEU	日通
中国航路 (丹東国際コンテナ 有限公司) H7.6開設	週1便 (火-水)	直江津(火-水) - 舞鶴(木) - 丹東(月-水) - 大連(木) - 青島(金) - 敦賀(月) - (直江津)	ジンマンジャン 332TEU Sheng Da(シエンダ) 322TEU	海陸 王子

注1：*印の釜山航路は、高麗海運と汎洋商船が相互にスペース・チャーターを行っている。

注2：興亜海運は、汎洋商船の釜山航路のスペースを一部借り受けてサービスを行っている。

直江津港代理店

日通：日本通運(株)直江津支店 0 2 5 5 - 4 4 - 5 7 6 5

海陸：直江津海陸運送(株) 0 2 5 5 - 4 3 - 3 4 1 1

王子：王子くびき運送(株) 0 2 5 5 - 4 3 - 1 3 1 1

3 朱鷺メッセ（万代島再開発事業）

新潟港西港区の万代島地区は、新潟港の中でも中心市街地に最も近接した地区であり、その立地特性を最大限に生かした地域発展の中心的役割を担っていくことが期待されている。

万代島再開発事業は、来るべき「日本海大交流時代」の到来に向けて、新潟県が日本海側における国際交流拠点と賑わいのある港湾空間の形成を目指すものである。

施設全体の愛称を「朱鷺メッセ」とし、平成15年5月にオープンした。

(1) 万代島再開発の目標・方針

- ア 新潟を戦略的に売り出し、国際的知名度を高めていくため、都市政策上の手段となる再開発を目指す。
- イ 新潟の新しい都市景観を表現できる景観やデザインに配慮した再開発を推進する。
- ウ 豊かなウォーターフロント空間を生かした憩いと賑わいの空間の形成を図る。
- エ 港湾と都市の接点における良好な業務空間・複合空間の形成を図る。
- オ 継続して魅力あるコンベンションを誘致・開催することにより、新潟の国際的な情報発信機能の向上と賑わいの醸成を図る。



(2) 導入施設・機能

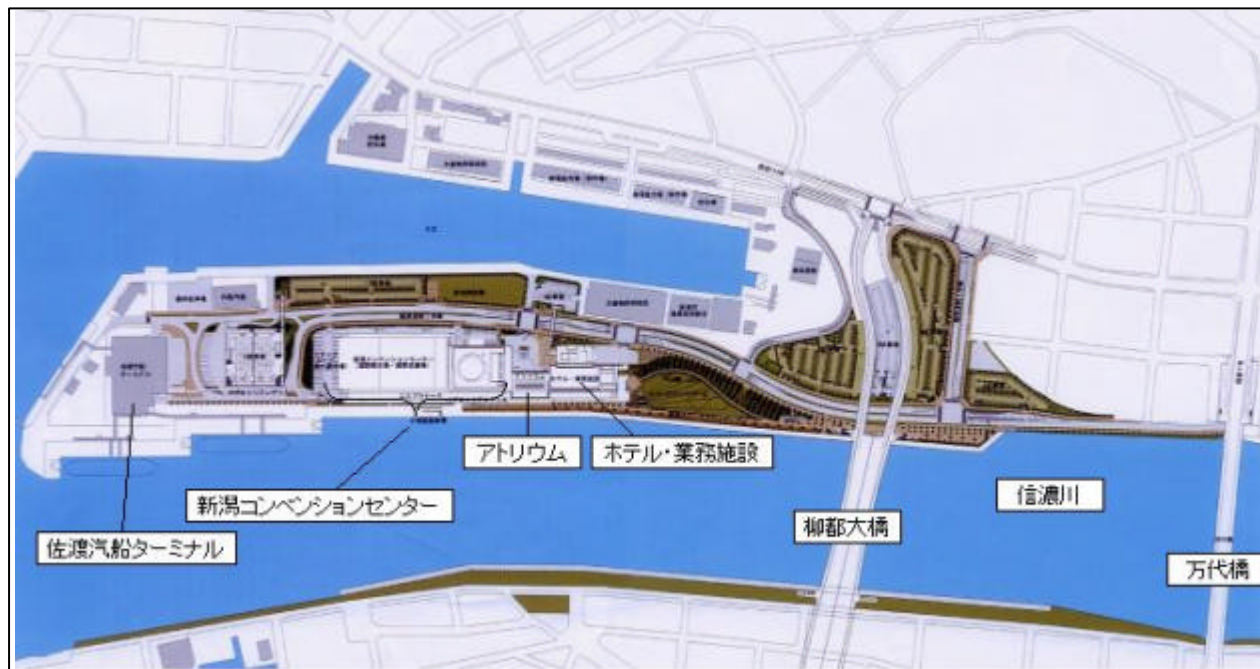
万代島地区には、コンベンション機能を十分に発揮するため、万代島全体の施設をコンベンションコンプレックスとして位置付け、県が国際会議場、国際展示場を複合一体化した新潟コンベンションセンター（以下、「コンベンションセンター」という。）を整備し、業務施設及びホテル（以下、「ホテル・業務施設」という。）については、それぞれの民間参画事業者が合築方式により整備した。（愛称：「朱鷺メッセ」）なお、それぞれの施設は次の機能を有している。

施設名	主な導入機能
1 コンベンションセンター	(1) 国際交流機能 全国的・国際的な学術会議・大会等の開催により、国際レベルの文化・人的交流を推進する。 (2) 貿易・産業振興機能 大規模な見本市・展示会等の開催により、国際的レベルの物流・企業交流を推進する。 (3) 文化振興・賑わい機能 文化イベント、興業イベント等の開催により、県民の文化基盤の向上と交流の新たな場を提供する。
2 業務施設	(1) 業務・貿易支援機能 国際的な流通・情報等を介した地域経済活性化のための民間業務機能、貿易関連機能 (2) 国際交流・支援機能 民間国際交流活動支援機能 旅券発給機能、調査研究機能 (3) 飲食機能、生活利便機能 (4) 文化振興・賑わい機能 文化振興、賑わい創出のための美術館、展望室を設置
3 ホテル	(1) 宿泊機能 (2) コンベンション活動支援機能等
4 緑地等	憩い、賑わい機能 楽しめるウォーターフロントと公園的な環境の創造を図る (親水緑地、多目的広場)

(3) 建築施設の内容（平成15年5月1日開業）

施設名称（主な施設内容）	
公的施設	コンベンションセンター ----- 国際会議場 メインホール …… 約 1,000席（シアター形式） 国際会議室 …… 約 500席（シアター形式） 1室 中会議室 …… 約 200席（スクール形式） 3室 小会議室 …… 8室 ----- 国際展示場 展示ホール …… 約 10,000人（シアター形式） ----- 商談控室等 ----- アトリウム ----- 総合エントランス
	ホテル・業務施設
	展望室：（31F、床面高さ 地上約125m） ホテル： 客室203室（22F～29F） 宴会場・式場（4F） フロント（3F） オフィス：（6F～20F） （財）環日本海経済研究所等（ERINA）、（財）にいがた産業創造機構（NICO）ほか 新潟県立万代島美術館（5F） 新潟県パスポートセンター（2F） （財）新潟県国際交流協会（2F） 駐車場（1F）

(4) 施設配置



(5) 姉妹提携

平成14年10月に世界トップレベルのコンベンション施設である韓国のCOEXと「朱鷺メッセ」が姉妹提携を結んだ。

(6) 国際化の総合センター

朱鷺メッセには、(財)新潟県国際交流協会、県パスポートセンター、(財)環日本海経済研究所などの国際化に関連した機関等が移転し、それぞれが機能の向上を図ることで、「国際化の総合センター」として当県の国際交流の拠点となり、利便性の向上やビジネスも含めた国際的活動が充実するものと期待されている。

《移転集積施設》

(財)新潟県国際交流協会

施設名を「新潟県国際交流プラザ」とし、国際化を総合的に推進する中心的な役割を果たすべく、開館時間の延長や、研修施設の土日・祝日等の貸出など、県民の国際活動への支援体制をより強化した。

県パスポートセンター

日曜日の旅券の交付を行うなど、県民サービスの向上を図った。

(財)環日本海経済研究所

北東アジア地域の経済に関する調査研究機能の中心的な役割を果たすとともに、国際会議やセミナーの開催などにより、交流の場を積極的に提供している。

4 その他の国際交流関係施設等

(1) 国際交流会館等

ア 友好会館

県内の国際交流を目的とした施設としては、中条町が県の補助を受けて建設した新潟・イリノイ友好会館がある。同会館は町のレベルを越えて、新潟県と米国イリノイ州との友好のシンボルとして、国際交流推進の拠点施設としての活用が図られている。

新潟市内には新潟市が設置した新潟国際友好会館があり、市民の国際交流活動の拠点として、また、市民と外国人との交流の場、新潟市を訪れる外国人の休息の場として活用されている。(財)新潟市国際交流協会が管理運営しており、その事務所も置かれている。

この他、新潟市の朱鷺メッセ内には、(財)新潟県国際交流協会が管理運営する新潟県国際交流プラザが平成15年4月にオープンし、交流ラウンジや国際交流に関する図書、資料等を備えた、多くの県民が利用できる施設となっている。

新潟・イリノイ友好会館

所在地： 北蒲原郡中条町大字長橋下276番地 1

規模： 約5,770㎡

施設： 情報センター、ホール、レストラン、売店、研修室8、展示室、宿泊室8、図書館等

新潟国際友好会館

所在地： 新潟市上大川前通6 - 1211 - 5

規模： 約465㎡

施設： 会議室、図書コーナー、展示コーナー、ロビー等

新潟県国際交流プラザ

所在地： 新潟市万代島5番地1 万代島ビル2階

規模： 344.6㎡

施設： 交流ラウンジ、図書閲覧室、研修室等

長岡市国際交流センター「地球広場」

所在地： 〒940-0062 長岡市大手通2 - 2 - 6 ながおか市民センター内

TEL 0258-39-2714 FAX 0258-39-2715

施設等： 情報交換・交流コーナー、書籍・インターネットコーナー、各種情報コーナー

上越国際交流センター（JOIN上越国際交流協会）

所在地： 〒943-8530 上越市土橋1914-3 市民プラザ内

TEL：025-527-3615 FAX：025-522-8240

施設等： センターラウンジ（雑誌、国際交流図書・ビデオ）外国人相談窓口

イ 留学生会館

次の2つの国立大学では、海外から受け入れた留学生や研究者のための施設として、次の施設を保有している。

新潟大学

・新潟大学国際交流会館（1989.5.24開館）

・施設の概要

鉄筋コンクリート5階建 延べ 1,724㎡

単身室43、夫婦室4、家族室2、多目的ホール、図書・学習室、和室等

長岡技術科学大学

・国際交流会館（1986.3.25開館）

・施設の概要

鉄筋コンクリート3階建 延べ 2,249.03㎡

単身室46、夫婦室8、家族室5、ラウンジ、会議室、和室等

(2) コンベンション施設・展示施設

ア コンベンション施設

国際都市としての機能を考える際に、国際会議の受入施設が整備されているかどうかという点は重要なポイントである。

コンベンション推進機関としては、新潟市、長岡市、上越市にそれぞれ「(財)新潟観光コンベンション協会」、「長岡観光・コンベンション協会」、「上越観光コンベンション協会」が設立されており、コンベンションの誘致や受入体制の整備に積極的な取り組みを行っている。

新潟市内の500人以上収容可能な代表的施設は以下のとおりである。

この他、県内の各地にも、公的施設を中心としてコンベンション施設が配置されており、今後の国際会議等誘致の流れの中で重要な役割が期待されている。

表3-8 500人以上収容の会議場 - 新潟市

名称	ホール数と収容力(椅子席)	会議室(机、椅子使用定員、和室を除く)
新潟コンベンションセンター (朱鷺メッセ)	2(10,000、1,000)	12(550人×1、230人×3、30~45×8)
新潟市産業振興センター	1(7,200)	3(100、80、30)
新潟市民芸術文化会館	3(1,890、873、387)	2(150×2室)
新潟県民会館	2(1,730、300)	4(42、24×3)
新潟テルサ	1(1,510)	7(150、60×2、48×2、18×2)
新潟市民プラザ	1(540)	
新潟市音楽文化会館	1(530)	12(100×2、80×2、40×3、36、30、27、24×2)
新潟ユニゾンプラザ	1(448)	8(180、120、80、36、32、30×2、24)
ホテル新潟	2(2,000、1,300)	9(80、60、50×2、25×5)
オークラホテル新潟	3(1,200、250、198)	7(36、27、24×4、18)
新潟グランドホテル	2(1,000、420)	6(110、40×2、20)
ホテルイタリア軒	2(800、300)	2(60、40)
新潟東映ホテル	2(800、760)	5(42×4、24)
新潟ミナミプラザホテル	1(800)	2(60、50)
新潟ワシントンホテル	1(500)	4(150、36、20×2)
新潟フェイス	1(700)	
新潟ベルナール	2(750、400)	3(200、105、90)

イ 展示施設

コンベンション施設と並んで、大規模な国際見本市などを行うための展示施設は、国際化の流れの中で今後一層その需要が高まるものと見込まれ、全国各地で建設が行われている。

本県の代表的展示施設としては、以下の施設を挙げることができる。

表3-9 展示面積が2,000㎡以上の展示施設

名称	展示面積	備考
新潟コンベンションセンター	7,800㎡	新潟市
新潟市産業振興センター	4,907㎡	新潟市
ハイブ長岡(長岡産業交流会館)	4,081㎡	長岡市
新潟県県央地域地場産業振興センター	2,260㎡	三条市

(3) その他の施設

新潟ロシア村

所在地： 〒959-1918 北蒲原郡笹神村大字笹岡字葉山1956-82
TEL 0250-63-1111 FAX 0250-63-2800

施設等： スーズダリ教会、ロシアンショーホール、ロシア料理レストラン他

柏崎トルコ文化村

所在地： 〒945-0855 柏崎市鯨波740
TEL 0257-21-4400 FAX 0257-21-4401

施設等： トルコの文化や歴史を紹介する多目的スペース「緑の美術館」、トルコ料理レストラン、トルコ物産品の販売

西山町ふるさと公苑

所在地： 〒945-0435 新潟県刈羽郡西山町大字坂田717-4
TEL 0257-48-2839 FAX 0257-48-2840

施設等： 田中角栄記念館、西遊館、中国庭園

漢学の里

所在地： 〒955-0131 南蒲原郡下田村 大字庭月451番地1
TEL 0256-47-2208

施設等： 諸橋轍次記念館、漢和庭園、孫悟空像

天寿園

所在地： 〒950-0933 新潟市清五郎633-1
TEL 025-286-1717

施設等： 中国庭園、日本庭園、多目的ホール他

トキの森公園

施設等： 〒952-0101 新潟県佐渡郡新穂村大字長畝383番地2
TEL 0259-22-4123 FAX 0259-22-4123

施設等： トキ資料展示館、佐渡トキ保護センター